

だんないの道

第53号



2022年12月3日発行

発行者:NPO 法人 CIL だんない

代表者:美濃部裕道

連絡先:〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL :0749-50-3639

E-mail:info@cil-dannai.jp

代表あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1	新しい生活様式による、二次障害?・・・・・・・・・・P2
だんない組織が変わって思うこと・・・・・・・・・・P4	僕の9年間の変化、そして10年目に向けて・・・・P5
実務者研修を終えて感じたこと・・・・・・・・・・P6	活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
ちょこっと紹介!だんないブログ・・・・・・・・・・P9	イベントのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・P14
2023年間スローガン&「だんないの歌」・・・・・・・・P15	編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・P16

代表あいさつ

「だんないが、できて、干支一周まわった!?!」。ウソみたいで、ホントの話。23歳で立ち上げたときは、正直ここまで続けられるとは思っていませんでした(笑)。いま働いてくれている職員には申し訳ないですが、大学を卒業して間もない私が「NPO?CIL?居宅介護?」。心のどこかで無謀だと一番感じていたのは、実は私だったかもしれません。それでも、「CILをやっていくんだ」と啖呵を切った以上、「あとには引けない」という覚悟(感情)だけで進めてきたら、干支が一周まわっていました。この間、目を覆いたくなることや思い出したくもないことばかりを、積み重ねながらなんとか続けてこれました。

そんな時に、傍らで見守り、支えてくれたのが、だんないのメンバーでした。それぞれのやり方で支えてくれました。事情でだんないから離れていった方も含めて、その時々メンバーが支えてくれました。そのすべての「メンバー」に改めて感謝したいです。

さて、この1年も、良いことも辛いこと、いろんな出来事がありました。コロナを交わし、くぐり抜けながらも、思い通り(それ以上)の活動が展開できました。「BBQ」、「ちょこっと祭り」、「きものDEだんない」、「サラダパンカップ」、「ポジティブ生活文化交流祭」、「交流会」と、計画にあげていたイベントはすべて実施できました。また、外部研修・会議や啓発活動にも積極的に参加することができました。これは、

だんないの組織を改編し、事務局・介助サービス局・活動局（CIL局）と基盤を整えたことによる成果だと思っています。「ひとりひとりの役割をにない、みんなで動き出す」の年間スローガンを、実際に体現できたのではないかと感じています。ここまでのことをやってくれたメンバーを誇りに思います。

最近外出する機会が増えて、いろいろな研修会に参加しています。その中で、介助者の存在について、よく考えることがあります。「CILの介助者は誰でも出来る」と言われることがありますが、私はそうはまったく思っていません。むしろ、限られた人にしか出来ないと思います。利用者の言うことを聞くこと・待つこと、介助者の意思を押し付けないこと、利用者の生活リズムを乱さないこと、これらは大切な介助者の姿勢ではないかと思うのです。これらの姿勢にストレスを感じたり、介助者としての振る舞いを注意されることへの耐性が弱かったりする人は、CILでは長続きしないと最近感じるようになりました。もともと介助者向きの素質を持つ人か、モヤモヤを抱えながらもそのストレスに耐えられる人が、介助者として働き続けられるような気がします。

だから私は、最近ではあまり「CILの介助者は誰でも出来る」とは言わないようにしています。踏み込んで言えば、合わない方は無理しないほうが、お互いのために良いと思います。もしも私がCILの介助者だとしたら、たぶん半年も持たないでしょう。そのぐらい介助者って難しい仕事のように感じます。だからこそ、今CILで働いている介助者の方は自分に誇りを持ってほしいし、続けていること自体に誇りを持ってもらいたいのです。事あるごとに、そんなことを強く感じる今日この頃です。

11月は紅葉を見に行く機会がたくさんありました。京都も大阪も行くことができ、とても良い景色を楽しみましたが、個人的には長浜の豊公園が一番グッときました。赤い紅葉の向こうに夕日が沈む琵琶湖の眺めは、どこか侘しい何とも言えない絶景です。そこで少しの時間たたくみながら、これまでの12年間で「みんな、ようがんばった」と心の中で振り返って、いつものように居酒屋巡りをするのでした。やっぱ、外はいいな～！「今日もお疲れ様！カンパイ！！」

美濃部 裕道（みのべ ひろみち）

寄稿

新しい生活様式による、二次障害？

木村 寛子（きむら ひろこ）

こんにちは。マルチスイッチの木村です。

以前にも、「だんないの道」でご挨拶させていただきました。また、このような機会を作っていただきありがとうございます。

あれから2年半。だんないの皆さんと一緒に、いろいろな活動に参加させていただく中で、たくさんのことを経験させていただきました。中でもボッチャを通しての地域の方との交流や、ネイルサロンでの女子トークでは、障害者、健常者ということを全く意識せず、熱くなったり、女子同士で共感でき

る楽しいトークに時間を忘れて過ごしています。改めて、同じ地域、同じ時代に暮らす人同士、一緒に楽しめることに喜びを感じています。しかし、まだまだ、一緒に過ごせる場所や環境が整っていない現状があちこちに転がっているようです。

昨今、私はさらに障害が重くなった気がします。それは、杖歩行が車椅子になったからではありません。加齢でADLが落ちたからでも、二次障害が出てきたからでもありません。

(もちろん、それも多少ありますが・・・) コロナ感染症によって、生活様式が極端に変わってしまったからです。

コロナが始まる前は、少しの量の買い物であれば一人でもできていました。それは、店員さんの声掛けや、袋詰めなどのちょっとしたサポートがあったからです。

しかし、今やセルフレジではお札の投入が出来ず、何度もお札が返ってきてしまうし、お釣りを絶対手渡ししてもらえないから、お釣りをトレーから拾うこともできません。電子マネーの「ピッ」も緊張して手が震えてしまうため、なかなか上手くいきません。

「困ったなー」が益々増えてしまいました。

「袋詰めのお手伝いはいたしません。ケガなどでお困りの方はお申しつけください。」と書いてあるから、わざわざ、「すみません、私車椅子で、手も上手に使えないので袋詰めお願いできますか？」と言わなければいけなくなりました。障害者アピールをしなければいけない時代に逆戻りやな・・・と残念な気持ちになりました。

一時、感染拡大防止のための報道で「買い物で一旦手に取った商品を賞味期限などを見て戻すのをやめましょう・・・」みたいなのをテレビで言われた時は、視覚障害がある夫との買い物も気が引けて、いけませんでした。なぜって、高い棚の商品などを夫に取ってもらう時は、手探りで2、3個商品を触ってからしか目的の商品にたどりつくことが出来ないからです。「一発で当てろ!!!」などと、夫が手を伸ばす下から^{げき}櫓を飛ばしたこともあります。

「そんな無茶苦茶な・・・😞」と夫の困った顔が思い出されます。

そんなこんなで、一人でできていたことがまた一つ減ってしまった気がします。障害者が、いやいや誰もが暮らしやすい社会ってどんなんかな？っていうことをみんなで考えて広めていきたいな、と思います。

だんない組織が変わって思うこと。

高橋 正樹（たかはし まさき）

2011年6月1日発行からおよそ11年5ヶ月ぶりの原稿書きとなります。

正直頼まれたときは動揺しました。というのも自分自身文章書きがあまり得意ではなくさらに11年間も原稿を書いていなかったの、なにを書けばいいのか難しかったからです。

周りからは「短文でもいいよ」といわれていましたが、それはそれで難しい・・・

普段発行されているだんないの道を拝見すると代表はもちろん他のスタッフもしっかりと自分の想いを文章として書かれているのを見ると・・・

「ちゃんと書かないと」という思いになり今回書かせていただきました。

私はだんない設立当初から働かせていただいているのですが、最初の頃は

CILなので当事者主体の色が強く当事者さんの手となり足となり言われたとおり

仕事をこなし当時私自身は、当事者さんが満足してくれたらそれでいい、

そういうお仕事なんだと認識していました。

時が経つたび新しい利用者、スタッフも増え事務所は賑わっていましたが

その反面当事者とスタッフの意見のぶつかり合いが年々激しく目立つようになりました。当時私はなぜこんなことが起きてしまうのだろう・・・？と不思議に思うだけでした。さらにコロナが流行りだしてから

は、なかなか思うように行動ができず

事務所にいる時間が増えたせいかフラストレーションがたまり事務所内に悪い雰囲気が漂っていました。

去年の秋からだんないの組織図が大幅に変更し先ほど述べたように今までは

当事者主体で主に活動してきましたが、現在は当事者、スタッフ全員が主体となり活動しています。組織が変更して1年経ちますが職場の雰囲気がガラッと変わりました。当事者はもちろん、スタッフ1人1人もあくまでも当事者主体を意識しながら自分のやるべきことが明確に分かるようになり自然と進んでこなすようになり、周りを見渡してなにができていないのか、または他のスタッフのフォローや共有など自分で考えて行動に移すという意識が芽生えました。

長年勤めている私にとってはいい意味で最初は違和感ありましたが、慣れました。

組織が変更してもう1つ思ったことがありますそれは、スタッフ1人1人のいいところ

得意なところが見えてきたことです。今までは指示介助の意識が強く、あまりそういう部分が隠れていましたが、変わってからそれがうまく引き出されるようになり「これこそ自分自身が思い描いていた職場だな」と実感しました。

先ほど述べた当事者とスタッフの意見のぶつかり合いでいろいろな思いがあるなかもっと早く組織が変わ

っていれば・・・全部は無理でも防げた部分はあったかもしれないと思う気持ちです。当事者とスタッフどちらか色が濃すぎてしまうとバランスが悪くなり良好な関係が築けなくなります。逆にお互いバランスのいい色になればなるほどいい関係を築き上げることができ、成長していき自分自身や周りにとっても本当にいい職場へと作り上げることができると組織変更で思う日常であります。

話が変わって最近、夜に入浴介助に入る機会が多くなりました。寒い季節になり利用者さんが湯船にバスクリンをいれられるのですが、入浴が終わって掃除中に少しだけ足を湯船につかせて気持ちよさを堪能し「今日も一日お疲れ様！」と唱えています。まだお仕事は終わっていませんが・・・笑

僕の9年間の変化、そして10年目に向けて

前田 貴行（まえだ たかゆき）

僕はだんないに入って9年になりました。

僕がだんないに入った当初は大人しい性格で人前とかで話すのも苦手な方で、だから入った時はほんとに苦労しました。

今は性格も変わってきて多少ではありますが人前で話すのもできるようになりました。

そしてだんないでも色々変わってきました。

以前は「指示があるまで待機、指示があったら動く」でしたが今のだんないは「一人一人が役割をもち当事者と話をしながらいろいろなことを決めていく」になってだんないの環境が変わってきました。

とても働きやすい環境になり、だからこそいまのだんないは変わってきて居心地のいいだんないだと思いました。

今はだんないでイベントや企画などをみんなと一緒に考えてイベントや企画をしています。

今年は3年ぶりにポジ祭（編集者注：「第13回 被災障害者⇄関西ポジティブ生活文化交流祭」。自然災害などで被災された障害者の暮らしや、支える活動を応援するお祭りとして毎年、大阪の長居公園自由広場で開催されてきましたが、コロナ禍で昨年までオンラインでの開催となっていました。）がありました。

天候があいにくの雨でしたがそんなに降ることも無くすることができました。

だんないはつるやさんのサラダパンとながいがいいパンとサラダパンTシャツとトレーナーとエコバッグを販売しました。

着ぐるみをきて販売して楽しかったです。

企画やイベントも任された時は決めることや考えることが多くて大変でしたが今はもう慣れてきました。

そして今僕は高月のアパートでルームシェアをしています。

最初は以前だんないで働いていた友達と一緒に住んでいたのですが、事情があり引っ越されてそれからはだんないで一緒に働いている先輩の高橋さんと一緒に住んでいます。

今では何事もなく楽しい生活になっています。

今は自転車でだんないまで行っています。

もう自転車でだんないまで通い初めて5ヶ月ぐらいになります。

これから車も買う予定もありますがまだまだ自転車で通おうと思います。

僕もいよいよ来年の6月で10年になりますのでこれからも頑張っていこうと思います。

実務者研修を終えて感じたこと

丹波 恵美（たんば えみ）

今年の夏にキャリアアップ研修として実務者研修を受講させていただきました。

研修内容は、介護技術なども教えてくださり、今後の介助の参考にしたいと思うところもありましたが、ほとんどの時間は介護課程の説明と実践でした。私は初めて介護課程について学んだのですが、アセスメント、介護計画、実施、評価とあり、簡単に説明すると、利用者さんについて情報収集をし、そこから課題を見つけ目標を立てて、いつまでにと期限を設けて、それまでにその課題をできるようにし、それができたか評価するというものです。そして、評価が終わったら、また新たな課題を見つけて…とずっと繰り返されるのです。受講生のほとんどが老人福祉法・介護福祉法の施設や事業所の職員さんで、きっと、介護課程については日々のお仕事で行われ、当たり前のことなのだと思います。言ってることは分かるのですが、それは、だんないで長く働かせていただいている私には何となく違和感がありました。利用者さんを観察して評価する、などの表現も上から目線のような気がして何となく馴染めませんでした。

この介護課程をだんないの当事者さんに当てはめようとしてみましたが、なにか違う気がしました。重度訪問介護のサービス提供責任者の資格要件に実務者研修終了者が含まれるようになったそうですが、何のためにそのようにしたのか？高齢当事者と障害当事者を同じようにしていきたいのかな？とか疑問が残りました。

私は、だんないの職員になり、初めて当事者主権という言葉を知りました。当事者主権とは、当事者さんの言うことをするだけではなく、当事者さんの立場に立ち思いに寄り添うことだと思っています。だんないが大事にしているこの当事者主権を大切にできる介助者でありたいと研修を終えてあらためて感じました。

活動報告

9月5日	千田サロン 生き生きサロン
7日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議
9日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者事務局会議
10日	野洲市なかよしフレンドリーボッチャ大会
12日	滋賀県手話言語や情報コミュニケーションに関する条例検討専門部会 傍聴

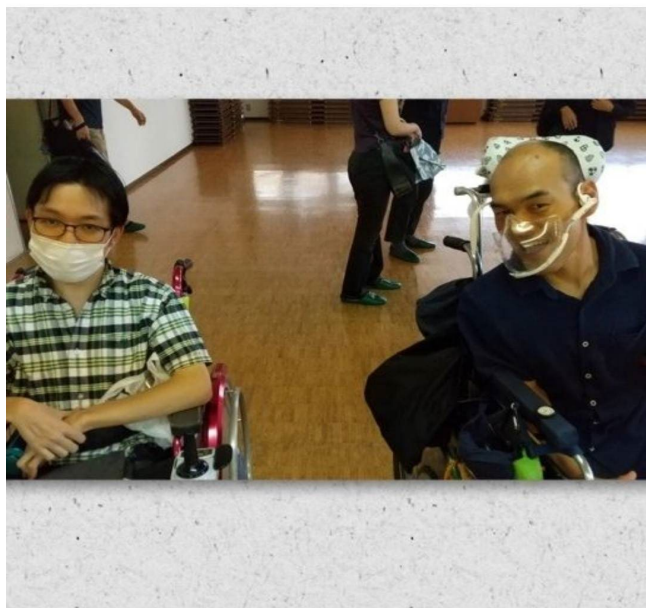
13日	滋賀県旧優生保護法情報公開請求訴訟裁判傍聴
14日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 全体会議
15日	企画会議 啓発活動 in フタバヤ長浜店
16日	当時者主体の地域活動作り研修
18日	着物 de だんない
20日	施設コンフリクト研修
21日	元気マンサロン
	長浜市地域福祉計画検討委員会
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 100人部会
22日	ひだまり重度訪問介護講座
23日	リユースター練習会 in 伊香ツインアリーナ
25日	ネイルサロン
27日	長浜更正女性講演
28日	長浜更正女性講演
29日	ひだまり重度訪問介護講座
30日	ピアピア
10月1日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 湖北地域生活塾
3日	だんない「まじボッチャ」大会
4日	生き生きサロン
6日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議 in さざなみ 長浜市成年後見講座 in 湖北福祉ステーション
7日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進分科会事務局会議
8日	長浜きもの大園遊会
11日	長浜小学校講演
12日	びわ更生保護女性会講演
	ポジ祭実行委員会（ZOOM）
14日	長浜市身体障害者福祉協会 ボッチャ研修
15日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 湖北地域生活塾
17日	YOLOFUKUI 職員研修
19日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 運営委員会 in 長浜市役所
20日	長浜地域福祉活動計画推進委員会 啓発活動 in コメリパワー
21日	ピアピア
22日	サラダパンカップ
23日	ネイルサロン
24日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護部会
25日	長浜北小学校講演
26日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達障害者支援部会
28日	伊香具小学校講演
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 虐待防止分科会
29日	ボッチャ体験会 in さざなみタウン

30日	ハロウィンイベント
31日	長浜市地域連携ネットワーク会議
11月1日	JCIL 職員研修
2日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議
	ぼてと訪問
3日	彦根ボランティアセンターイベント
4日	生き生きサロン
5日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 湖北地域生活塾
6日	人権学習講座
	感染予防研修
8日	びわ南小学校講演
10日	湖南農業高校講演
11日	木之本小学校講演
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者事務局会議
12日	人権センター周年記念講演会
17日	企画会議 啓発活動 in 米原駅
19日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 湖北地域生活塾
20日	ネイルサロン
21日	元気マンサロン
	ピアピア
23日	被災障害者⇄関西ポジティブ生活文化交流祭 in 長居公園
25日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達障害者支援部会
29日	平和堂ボッチャ体験会
	鳥居本養護講演

ちょっと^{しょうかい}紹介！ だんないブログ。



npodannai



npodannai 9月13日、旧優生保護法情報公開請求訴訟の裁判傍聴のため、大津地裁に行ってきました。

滋賀県に対し、旧優生保護法によって手術を受けさせられた方々への人権侵害の実態が記された文書の公開を求める裁判です。

滋賀県側が情報公開をそこまで拒み続ける理由、何か他の隠したい事情でもあるのでは？とうがった見方をしてしまいます。

大きな力が動いてそうな...

次回、12月13日は大詰めになりそうです。たくさん傍聴できればと思います。



npodannai



いいね！: [redacted]

npodannai 9月15日、企画会議を行いました。その後、フタバや長浜店で、啓発活動さべかいピワイチ企画を開催しました。共生社会づくり条例のティッシュを、買い物に来られたお客様120名ほどに配ることができました。店長さんのご理解もあって、入口付近3か所で行うことができました。次回は、坂田駅周辺で行います。お楽しみに！



いいね！:

npodannai

9月16日、大阪の森ノ宮で開催された当事者活動についての研修会に参加しました。

大阪の当事者30名ほどが参加されていて、日頃の活動を各自発表されたり、ワークショップでは日頃の活動における課題意識などを話し合ったり、貴重な時間となりました。

参考になることが多く、今後の活動に活かしたいと、心新たにしました。

npodannai



npodannai

9月17日、長浜駅のえきまちテラスにオープンした。ゆきねえのティーダ食堂に突撃入店しました！

というのも経営者はだんないで働いている職員の眞境名さんで、だんないで2年ほど働きながら自分の夢である飲食店の開業に向けて準備を進めてこられました。子育てなど大変だったと思いますが、ようやく本日オープンにこぎつけられました。出身である沖縄料理中心にメニューを出されています。僕はソーキそばをいただきました。日本人好みの味でとっても美味しかったです！

皆さんも是非お立ち寄りください！

次はオリオンビールを置いてくれないかなあ...

#ゆきねえのティーダ食堂

npodannai



npodannai

9月18日、だんないにおいて「きものDEだんない」というイベントを開催しました。

セパレート着物を開発・販売されている湖布さんや、地元でお茶を教えておられる高月さんなど、たくさんの協力者の方々にお世話になりました。おかげさまで、40名以上の参加があり、盛大に行うことが出来ました。

木村さんとも良いツーショットが撮れて大満足です。これを機に色んな企画を打っていいなと思います。

皆さん、ありがとうございました！！



npodannai

9月20日、大阪西成に「施設コンフリクト研修」を受けに行きました。

コンフリクトとは、互いの目的が異なる場合に、その感情が行動に表出化されることで、「施設建設反対運動」の時に持ち出される言葉です。

印象的だったのは、「理解を求める前に、まず信頼関係を構築することが大切。感情的にならずに、まず受け止める。対立したときに、ポイントになるのは仲介する人。」と講師の方がおっしゃっていたことです。

いろんなポイントがあって、貴重な学びとなりました。

でも、そもそも障害者の住まいのことに反対する住民が少なくないって悲しい現実だな...

やっぱり大事なのは、インクルーシブ教育かなって、つくづく感じました。



npodannai 10月1日、さざなみタウンで第6回地域生活塾が開催されました。

今回は、コロナの影響でおよそ2か月ぶりの開催となりましたが、6名の参加がありました。

前回の塾で調べた調理計画をもとに、午前中に調理実習を行いました。

うまく作ることも、自分らしく作ることを大事にした今回の体験、受講者だけではなくスタッフにも、うまく伝えられた気がします。

午後は次回のフィールドトリップの計画を行いました。

次回、市内外出も自分らしい外出になるか注目したいです。



npodannai 10月4日、ダスキンの研修生、ゾーさんがだんないに見学に来られました。

京都にあるNPO法人ゆにが、一週間ほど受け入れされている中で、一日をだんないに選んでいただきました。

田舎のCILに関心があるとのことで、この日がちょうど毎月開催している生き生きサロンだったので、見学させていただきました。

夜はマルチスイッチの木村さんご夫婦とも交流してもらえました。

また、どこかでお会いしたいです。

安田さんや窪崎さんともお会いできて嬉しかったです。



npodannai



いいね! :

npodannai 10月8日、マルチスイッチさん主催、車椅子ユーザーが長浜きもの大園遊会に参加するイベントに参加しました。

10名ほどの参加があり、みなさんメイクをしたり、ヘアースタイルを整えたりしたうえで、それぞれが選んだ着物を着て長浜の街へ出掛けておられました。私も着物を着て黒壁を散策して、食べ歩きしました。着物を着た一般の方とも写真が撮れて貴重な体験となりました。

天気が良かったのが最高です。



npodannai



npodannai



npodannai 10月17日、YOLO・FUKUIさんを招いての職員研修を実施しました。

北山さんやバケンさんを含め5名の方にお越しいただき、研修してもらいました。事前に何度もメールでやり取りして、研修ポイントを打ち合わせさせていただいたこともあり、中身の濃い研修となりました。

また、日本まんなかプロジェクトの構想も今日共有出来て、充実した時間となりました。

YOLO・FUKUIの皆さん、ありがとうございました！

npodannai 11月1日、JCILの渡邊琢さんと小泉浩子さんをお招きし介助職員研修を行いました。

3回シリーズの最終回となる今回も、それぞれにとって気付きの多い研修となりました。

特にネガティブ・ケイパビリティという考え方、不確実性に耐える力の重要性について教えてくださいました。答えは出ないけれどモヤモヤしたまま続けることが介助と活動をする上で必要になってくると感じました。

貴重な時間でした。お二人ともありがとうございました。



npodannai



いいね！:

npodannai 10月22日(土) 3年ぶりにサラダパンカップを開催させていただくことができました(***)
皆さんに電動車椅子サッカーとボッチャを楽しんでいただけて良かったです！
来年もぜひ開催したいです💎
特別協力いただきましたつるやパン西村様、ご協力いただきました長浜市スポーツ推進委員会の皆様、そしてご参加いただきましたすべての皆様、本当にありがとうございました！

#電動車椅子サッカー #ボッチャ #つるやパン #サラダパン



npodannai



npodannai

11月23日、大阪長居でポジティブ生活文化交流会がありました。3年ぶりとなる現地開催わくわくしました。

雨が予想されましたが、午前中と午後に少し降ったぐらいであとは降られませんでした。久しぶりに会う方ばかりでお話しできて嬉しかったです。天候もあり、いつもより売れ行きは良くなかったですが、皆様のご協力のお陰でほぼ完売することができました。

今年最後の大型イベント、無事に終わって良かったです。来年も楽しみです。主催者のの皆さんお疲れ様でした！



ハートフルプラザ・CIL だんない・りんくす
合同研修会のご案内



□ 日時：令和4年12月26日（月）

13：30～16：30（受付13：00）

□ 場所：長浜さざなみタウン2F 多目的ホール

3団体に共通するのは、①障がいのある人たちの支援②ユニバーサルな街づくりを目指している、です。このたび3団体が共催して、ユニバーサルな街づくり等々について、みなさんと一緒に勉強したいと思い、今回の企画を実施することにしました。年末お忙しい時期かとは思いますが、ご参加お待ちしております。

□ 第1講義：13：40～15：00

『(仮題) ユニバーサルな福祉の街づくり』

講師：三星昭宏氏

(近畿大学理工学部 専門：福祉の街づくり)

□ 第2講義：15：10～15：40

『(仮題) ユニバーサルとボッチャ』

講師：田中康隆氏（滋賀ボッチャリーグ会長）

□ ONE ボッチャ試合体験会：15：50～16：30

※ 主催：NPO 法人りんくす 共催：ハートフルプラザ・だんない・りんくす

※ なお、詳細時間については、現在調整のため多少前後することはあります。

※ コロナ感染予防徹底して開催します。

※ 感染予防の観点から、参加対象者は3団体関係者等に限定させていただきます。

趣旨ご理解のうえ、なにとぞ協力お願い申し上げます。

2023 年間スローガン

外に向けて「楽しむ」を伝えながら、 それぞれのこれからを描いていこう

この3年ほどコロナ過の状況もあって、だんない全体が内向きの傾向となり、時にはメンバー同士がいがみ合うことやぶつかり合うこともしばしばありました。なかなか活動や介助についての話ができない時期もありました。今年に入ってから、ようやくその「負のスパイラル」を抜け出し、それぞれの役割をもって前向きな動きがみられた一年だったと思います。それは、コロナの状況も落ち着き、「外」に意識が移り、「ナカ」のいろいろなモヤモヤが目に入りにくくなったからではないかと思います。モヤモヤ自体はそれほど改善していなくても、外に問題意識が移ることで逆に組織として一つの方向に向かうきっかけができた気がします。これを踏まえて、来年も「外」への意識は持ち続けながら、だんない本来の姿である「楽しむ、変える、繋がる」を伝えながらも、当事者メンバー・介助者メンバーともにプライベートも活動も充実した生活を送りたい。そんな思いを詰め込んで、このスローガンにしました。

「だんないの歌」ができました

だんないの歌

Capo.3 fret ♩ 90 Moderato

Intro G

G D Em G Cmaj7 G Am D
たとえうまくできなくても 心配しないで だいじょうぶ

G D Em G C D G Am D G
ふらっと来られる 立ちよれる みんなのための 場所がだんない

B7 Em A7 D
ありのままでいいよ がんばらなくても

Cmaj7 Am C D Dsus4 D
そのまま 良んだよ それがだんない

G D Em G Cmaj7 G Am D
障害がある かどうかじゃなく だれもがきつと つながれるんだ

G D Em G C D G Am D G
自分らしさ 今楽しんで つながれる場所 それがだんない

C D G Am D Em
つながれる場所 それがだんない

chorus

G (Am・Bm・Cm) G-Em-D-G (Bm・Am)
G-Em-D-G (Bm・Am)
G-Em-D-G (Bm・Am)
G-Em-D-G (Bm・Am)
(Am・Bm・Cm) G



挿絵・題字 五十嵐 美里（いがらし みさと）

編集後記

今号もお読みいただきありがとうございました。
今回はだんない設立12周年記念日の発行ということもあり、マルチスイッチ木村さんのご寄稿や、普段あまり多くを語らないメンバーの職員リレートークなど、私自身編集していてちょっとスペシャルな感じがする充実の内容となりました。皆さまにお読みいただけて嬉しく思います。また今回も原稿を寄せてくれたり、ともに編集をしてくれたメンバー、支えてくれるメンバーのことを思うと、ちょっぴり誇らしいような気持ちです。

12月になりぐっと寒くなりましたが、皆さまお体に気を付けてお過ごしください。

（谷口）

NPO 法人 CIL だんない

代表 美濃部裕道 副代表 中川佑希

理事 谷口健人、前田貴行、横山卓馬

URL : cil-dannai.jp

郵便振替口座番号：ゆうちょ銀行木之本支店

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL : 0749-50-3639

FAX : 0749-50-3961

E-mail : info@cil-dannai.jp

00940-2-209115